

ごみゼロ運動の実績

令和5年11月12日(日)に実施した『愛西市ごみゼロ運動』について、多くの市民の皆様にご参加していただき、誠にありがとうございました。

市民の皆様により、道路などに捨てられているごみを集めることができました。

分別していただいて、集めたごみ袋の枚数は以下のとおりです。

引き続き、愛西市の美化活動にご協力いただきますようお願いいたします。



	可燃ごみ	プラごみ	カン	ビン	不燃ごみ	計
佐屋地区	307枚	329枚	99枚	85枚	107枚	927枚
立田地区	186枚	206枚	50枚	32枚	46枚	520枚
八開地区	53枚	117枚	39枚	21枚	33枚	263枚
佐織地区	84枚	161枚	43枚	22枚	45枚	355枚
合計	630枚	813枚	231枚	160枚	231枚	2,065枚

☎ 環境課 ☎ (55)7114

令和6年1月から 産前産後期間の国民健康保険税が免除となります

内容 出産予定日(または出産日)が属する月の前月から4か月間の国民健康保険税が免除されます。なお、多胎妊娠の場合は、出産予定日(または出産日)が属する月の3か月前から6か月間の国民健康保険税が免除されます。

※産前産後期間相当分の国民健康保険税(所得割額・均等割額)が年額から減額されます。産前産後期間の保険税が0円になるとは限りません。

対象者 国民健康保険被保険者で出産日が令和5年11月1日以降の方

申請時期 出産予定日の6か月前から届出可能です。なお、出産後も届出可能です。

申請に必要なもの

- ・**出産前に届出をする場合**: 母子健康手帳等(出産予定日が分かるもの)
- ・**出産後に届出をする場合**: 出産日は市役所で確認できるため原則不要

申請先 保険年金課または各支所

☎ 保険年金課 ☎ (55)7119

- ① 入浴前に脱衣所や浴室を暖めましょう。
- ② 食後すぐの入浴や、飲酒後、服薬後の入浴は避けましょう。

寒い冬は、冷えた体を温めようと熱いお風呂に入るのが楽しみである一方で、浴室での事故が増える時期です。
令和3年は、全国で4千750人の高齢者が、家および居住施設の浴槽で亡くなっています。
入浴に関連した急死の原因として「ヒートショック」が考えられています。ヒートショックとは温度の急激な変化で血圧が上下に大きく変動するなどによって起こる健康被害です。特に高齢者は血圧を正常に保つ機能が低下するため、寒暖差で血圧が大きく変動し、意識障害を起こして浴槽内での溺死に繋がる恐れがあります。

☎ 消防本部予防課
(26)1109

119番



冬場の入浴に気を付けて

- ③ 入浴する前に同居者に一声掛けて、意識してもらいましょう。
- ④ 温度は41度以下、湯に浸かる時間は10分までを目安にしましょう。
- ⑤ 浴槽から急に立ち上がらないようにしましょう。



〈事故発生時の対応方法〉

万が一事故が発生した時には、可能な範囲で対応しましょう。

浴槽内で意識のない人を発見したら、浴槽の栓を抜き、大きな声で助けを呼び、浴槽から出せるようであれば救出する。出せないようであれば、浴槽の蓋に上半身を乗せるなど沈まないような対応をお願いします。そして、直ちに救急車を呼んでください。浴室での事故を防ぐために、予防方法や対処法を正しく理解しておきましょう。